

第 1 回インフラ DX 実践ワーキング 2026 年 8 月 28 日（金）15：00～

党 紀准教授主催

第 1 部：開会挨拶、WG メンバー紹介

15：00 開会挨拶 地域レジリエント社会研究コンソーシアム副会長

菊池雅彦教授（事務局長）

15：05 WG メンバー紹介

中央開発(株)ソリューションセンター : 福原様・藤谷様

(株)川金コアテックメンテナンス部 : Zuo 様

(株)ゼンリンさいたま支店 : 檜垣様・中村様

エアロトヨタ(株) : 鈴木様・安海様

埼玉大学 : Goit Chandra Shekhar 教授

: 篠澤（事務局）

【Web 参加】首都高速道路(株)技術部 DX 推進課 : 堀内様・竹山様

第 2 部：話題提供と研究発表・会社の技術紹介

15：10～15：30 中央開発（株）：藤谷様

【タイトル】地中の真実をてのひらへ

* 斜面監視のパラダイムを変える新型傾斜センサ「感太郎 F-Alert」の紹介

15：30～15：40 質疑・応答 討議

15：40～16：00 （株）川金コアテック：Zuo 様

【タイトル】レーザー変位計を用いた支承挙動の遠隔モニタリング技術

16：00～16：10 質疑・応答 討議

16：10～16：30 （株）ゼンリン：檜垣様・中村様

【タイトル】ゼンリンのインフラ DX に関連する取り組み事例 1

16：30～16：40 質疑・応答 討議

16：40～16：50 エアロトヨタ（株）：鈴木様・安海様

【タイトル】会社の技術紹介

16：50～17：00 質疑・応答 討議

17：00 閉会挨拶 終了

埼玉大学・社会変革研究センターレジリエント社会研究部門・コンソーシアム事務局
『2026 年第 1 回インフラDX実践ワーキング』を開催しました



(当日のワーキングの様子)



*8/28 (金)、第 1 回インフラDX実践ワーキングの部会ミーティングが開催され、各会員から会社の研究発表と、インフラ DX に関する取り組みの紹介をしていただきました。

斜面監視のパラダイムを変える新型傾斜センサの紹介や、レーザー変位計を用いた支承挙動の遠隔モニタリング、自動運転用の高精度地図データなど、これからの生活にも欠かせない、そして膨大な情報を処理する能力にはなくてはならない、大変貴重な技術のお話をさせていただきました。また、鉄道・道路等のインフラの維持管理、次世代のエアモビリティ（空飛ぶクルマ）のお話等が興味深く、参加者からの質問が飛び交っておりました。大変楽しく勉強になる会になりました。ご参加いただいた皆様、多忙な中にも関わらず、誠にありがとうございました。今後とも引き続きよろしくお願いいたします。

また今回より、埼玉大学コンソーシアム事務局から参加の 2 名も、この 4 月から新しくメンバーに加わりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今後もインフラDX実践ワーキングを開催し、会員の皆様と共に学び、討議し、大学と企業の技術情報を共有していきたいと存じます。何卒宜しくお願いいたします。

尚、次回第 2 回インフラ DX 実践ワーキングは、2026 年 12 月頃を予定しております。